

実務経験のある教員による授業(実践的)科目一覧

理学療法学科

	科目名	担当教員	単位数	科目に関連する実務経験と授業への活用
全学共通科目	日本国憲法	柴田 賢	2	講師は弁護士として、民事事件、刑事事件、行政事件など、憲法問題を含む法律実務に従事してきた。これらの実務経験を踏まえ、現実の社会における法の運用の実際を踏まえた講義を行う。
専門科目	臨床動作分析	田中 和哉, 平賀 篤, 渡邊 修司	2	理学療法士を目指す上で必要な評価方法の一つである動作分析について、理学療法士としての臨床経験のある教員がそれぞれの専門分野を分担して講義する。
	理学療法評価学	安齋 久美子, 相原 正博, 渡邊 修司, 田中 和哉, 新永 拓也	2	総合病院、回復期病院、整形外科病院での臨床経験のある担当教員が教授する。
	理学療法評価学実習Ⅰ	渡邊 修司, 佐野 徳雄, 相原 正博, 五味 雅大, 平賀 篤, 新永 拓也, 青柳 達也	1	病院、介護老人保健施設等、関連医療機関における理学療法士としての実務経験のある教員が、それぞれの経験や専門分野に基づいた理学療法評価技術と、臨床推論について講義する。
	理学療法評価学実習Ⅱ	佐野 徳雄, 新永 拓也, 相原 正博, 渡邊 修司, 田中 和哉, 五味 雅大, 吉沢 剛, 青柳 達也	1	理学療法士を目指す上で必要な、理学療法評価学における検査や測定方法、データの分析や考察方法について、理学療法士としての臨床経験のある教員がそれぞれの専門分野を分担して講義する。
	運動療法学	相原 正博, 五味 雅大, 北山 哲也, 山田 洋二	2	急性期から回復期、生活期の病院にて、脳血管障害や整形外科疾患、内部障害を有する患者に、長年リハビリテーションに従事してきた教員が講義を担当する。その経験を活かして、理学療法における運動療法の基本的な事項について、応用的な疾患別運動療法を修得する前の導入として講義する。
	運動療法学実習	渡辺 長, 毛利 元樹, 五味 雅大, 青柳 達也	1	理学療法士を目指す上で必要な運動療法の理論的な解釈、基本的知識、技術、実践力の体得を目指すため、理学療法士としての臨床経験のある教員が、病院や施設での実務経験を活かしてそれぞれの専門分野を分担して講義する。・渡辺長: 理学療法士(総合病院勤務経験)・五味雅大: 理学療法士(総合病院・訪問リハビリテーション勤務経験)・青柳達也: 理学療法士(総合病院・訪問リハビリテーション勤務経験)・毛利元樹: 理学療法士(総合病院勤務)
	物理療法学Ⅰ	平賀 篤, 安孫子 幸子, 渡邊 郁海	1	臨床現場にて長年物理療法を活用してきた複数教員が実際の使用方法、リスク管理、最新の知見を網羅して講義する。
	物理療法学Ⅱ	平賀 篤, 安齋 久美子, 渡辺 長, 渡辺 龍馬, 渡邊 郁海	1	臨床現場にて長年物理療法に携わってきた複数の教員が、それぞれの専門分野での活用経験を駆使して実習指導を行う。
	義肢装具学Ⅰ	青柳 達也, 平賀 篤	2	理学療法士を目指すうえで必要な装具学・義肢学の概要や個々の補装具類の名称や特徴、適応、チェックアウトについて、理学療法士として臨床・教育・研究において経験豊富な教員が講義する。
	義肢装具学Ⅱ	青柳 達也, 豊田 輝	1	理学療法士を目指すうえで必要な義肢学の臨床応用について、理学療法士として臨床・教育・研究経験豊富な教員が実技や演習を交えながら講義する。
	日常生活活動学Ⅰ	西條 富美代	1	理学療法士を目指すうえで必要な日常生活活動の概念、評価方法、指導方法などについて、理学療法士として臨床経験のある教員が講義を行う。
	日常生活活動学Ⅱ	西條 富美代	1	理学療法士を目指すうえで必要な日常生活活動の概念、評価方法、指導方法などについて、理学療法士として臨床経験のある教員が講義を行う。
	運動器障害系理学療法学Ⅱ	相原 正博, 池田 俊輔, 渡邊 修司	2	運動器障害分野の理学療法に携わった教員(10年以上)及び、現在も臨床現場で運動器障害分野の理学療法に関わっている非常勤講師による最新の知見を講義する。また、臨床現場で実施している評価・治療技術を教示する。
	神経障害系理学療法学Ⅰ	平賀 篤, 大西 健太	1	脳血管障害に関する理学療法臨床現場に10年間従事した教員に加え、現在も山梨県内地域にて脳血管障害分野の地域リハビリテーションに関わる非常勤講師による最新の知見を講義する。
	内部障害系理学療法学Ⅱ	新永 拓也, 佐野 徳雄, 山田 洋二, 新井 則善, 渡邊 亮, 角田 健	2	内部障害を有する患者や利用者に対して、各種症状の緩和や身体機能の維持と改善を目標に理学療法士として従事していた経験を有する教員が具体的な知識と技術を指導する。学生は自らが内部障害者になった状況を想像しながら、一般検査および理学療法評価から問題点を抽出し、具体的なプログラム立案へと思考を進める経験を得る事が出来る。
	高齢者理学療法学	渡辺 長	1	在宅における訪問リハや高齢者施設など介護保険分野における理学療法に従事した経験を持つ教員(理学療法士)が、その経験を活かして、高齢者を取り巻く社会保障の国際比較から高齢者に特徴的な慢性疾患の身体評価及び理学療法、在宅復帰に向けた環境整備の在り方などについて実例を交えて分かりやすく講義する。・渡辺長: 理学療法士(総合病院勤務経験)
	小児理学療法学	安齋 久美子	1	小児の専門病院にて臨床経験のある教員が、治療の実際と家族の支援を含めて教授する。
	地域理学療法学	五味 雅大, 渡辺 長, 宮下 良美, 村松和樹, 深沢 太郎, 秋山 雅美, 芝 伸悟	2	・理学療法士を目指すうえで必要な地域理学療法における概念、評価の仕方、関連法規、考え方を、理学療法士として臨床経験のある教員が分担して講義する。・現在、地域において活躍している多職種の外部講師による講義を通して、地域理学療法分野についての幅広い視点と基礎的な知識、各専門職による視点などについて学ぶ。・深沢太郎: 作業療法士(在宅介護支援事業所経験) 村松和樹: 理学療法士(介護老人保健施設、クリニック経験) 秋山雅美: ケアマネージャー、保育士(共生型デイサービス経験) 芝伸悟: 理学療法士(介護老人保健施設経験) 西條富美代: 理学療法士(総合病院、介護老人保健施設、訪問理学療法経験) 渡辺長: 理学療法士(総合病院経験) 宮下良美: 理学療法士(総合病院、クリニック、訪問理学療法経験) 五味雅大: 理学療法士(総合病院、クリニック、訪問理学療法経験)
	生活環境学	西條 富美代, 五味 雅大	1	理学療法士を目指すうえで必要な生活環境についての評価の仕方、関連法規、考え方を、理学療法士として臨床経験のある教員および福祉住環境コーディネーター2級を保持する教員が分担して講義する。
	合計単位数			28